

県の回答（対応状況等）

令和2年6月30日

（ご意見標題） 知事の会見（全戦没者追悼式典）について

（課長名） 保護・援護課長 大城 清剛

（ご意見要約）

一心に平和を祈念し、御霊をなぐさめる場を私物化してはならず、式典を中止した方が雑念なく参列できる。

（回 答）

ご意見ありがとうございます。

沖縄全戦没者追悼式は、沖縄戦で亡くなられた全ての戦没者の御霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う沖縄の心を発信し、沖縄戦の歴史的教訓を正しく伝え、次世代の子どもたちに平和の尊さを継承する非常に重要な場であると考えております。

今回は、新型コロナウイルスの感染防止対策に万全を期するため、式典の開催規模や開催場所の検討に時間を要してしまい、たいへん御心配をおかけしました。

県としましては、追悼式において、沖縄戦で亡くなられた方々の御霊を慰めるといふ思いはいささかも変わることはないことから、引き続き当該式典の開催に真摯に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。